



# 更新検知ツール

## [ 操作マニュアル ]

2010/10/21

独立行政法人 産業技術総合研究所  
バイオメディシナル情報研究センター

ドキュメント名	目次
独立行政法人 更新検知ツール	

目次

本ソフトウェア説明書は以下から構成されております。

1. 管理GUI	P. 2
1.1 動作環境	P. 2
1.2 操作手順	P. 2
1.2.1 検索方法	P. 3
1.2.2 検索結果	P. 3
1.2.3 特権モード	P. 3
2. 更新検知ツール	P. 7
2.1 動作環境	P. 7
2.2 操作手順	P. 7
2.3 設定の変更	P. 8
2.3.1 サイトへのアクセス間隔を変更する場合	P. 8
2.3.2 メール送信先を変更する場合	P. 8
2.3.2 ミラーサイトの場所を変更する場合	P. 8

## 1. 管理GUI

### 1.1 動作環境

このシステムはブラウザ上で動作し、クライアントではブラウザ以外にJavaScriptの実行可能な環境が必要となります。

#### ■以下のブラウザに対応

- ・Internet Explorer v7.0～
- ・FireFox v3.0～
- ・Safari v3.0～

### 1.2 アクセス方法

ブラウザで以下のURLにアクセスすることで使用することができます。

#### ■URL

http://[サーバー名]/gpmanager/index.cgi

アクセスするとユーザ名とパスワード入力ウィンドウが表示されますので、ユーザ名、パスワードを入力してログインして下さい。

デフォルトのユーザは「admin」と「guest」のみです(パスワードはユーザ名と同じ)。

ユーザを追加する場合は、システム仕様書をご参照下さい。

### 1.2 操作手順

The screenshot shows the MEDALS management interface. At the top is the MEDALS logo and a search bar (1) with a search button (2). Below the search bar are filters for Item Group (3), Date (4), and To (5), with a search button (6). The main area displays search results (7) in a table with columns for Item ID, Item Name, URL, Group Name, MEDALS ID, and Comment. The table lists items 12 through 16. On the right side, there is a '更新履歴' (Update History) section (13) showing a list of updates with dates and times, and buttons for 'Update' (14) and 'Renewal' (15). At the bottom, there are buttons for 'Item編集' (17), 'Edit' (18), 'Delete' (19), and 'Add' (20), along with 'Item Group編集' (21) and 'Edit' (22). Labels in red boxes identify key areas: 【A】検索バー (Search Bar), 【B】検索結果エリア (Search Results Area), 【C】特権モードエリア (Privileged Mode Area), and 【D】更新履歴エリア (Update History Area).

画面は【A】検索バー、【B】検索結果エリア、【C】特権モードエリア(adminユーザのみボタン有効)、【D】更新履歴エリアの4つから構成されております。

ドキュメント名	1. 管理GUI
システム名称	更新検知ツール

### 1.2.1 検索方法

検索モード(1)をItemまたはURLまたはCommentまたはItemIDのいずれかから選択します。テキストボックス(2)に検索文字列を入力します。検索結果を絞り込む場合はItem Groupのリストから検索したいアイテムグループを選択します。また、テキストボックス(4)、(5)に日付を指定することで、その期間にサイト更新が行われたアイテムのみ検索することが可能です。ItemIDは、検索文字列にIDだけ指定します。全ての指定が完了したら、「Search」ボタンを押下します。このシステムは、以下の検索方法で検索しています。

項番	検索モード	検索対象	一致方法	大/小文字区別
1	Item	tbl_itemのitem_name	部分一致	区別なし
2	URL	tbl_itemのitem_URL	部分一致	区別なし
3	Comment	tbl_itemのcomment	部分一致	区別なし
3	ItemID	tbl_itemのitem_id	完全一致	

アイテムグループの選択は以下から選択します。

- ・All
- ・none
- ・「Edit」ボタン(16)より追加したアイテムグループ

日付指定テキストボックス(4)、(5)はどちらか一方の入力指定も可能です。(4)のみに指定があった場合は、指定された日付以降に更新があったアイテムを、(5)のみに指定があった場合は、指定された日付以前に更新があったアイテムを表示します。

テキストボックス(4)、(5)は数字8桁で指定して下さい(例: 2009年11月30日 → 20091130)。

### 1.2.2 検索結果

検索結果は、検索条件に該当したアイテム情報を、アイテム名の昇順で全件【B】検索結果エリアにテーブル表示します。

検索結果の総数は(7)に表示されます。

検索結果エリアにはアイテム名(8)、アイテムのURL(9)、アイテムが所属するグループ名(10)、コメント(11)、MEDALS IDの5つの情報が表示されます。

テーブルを押下すると、フォーカスが当り(アイテム選択状態)、【D】更新履歴エリアにアイテムの更新日時を表示します。

ここには、「再取得」ボタン(13)と、検索時に指定した日付期間に該当する情報(14)を表示します(指定がなかった場合は、全更新履歴を表示)。

また、HTMLの差分情報(テキスト形式)へのリンクであるdiff.txt(15)と変更箇所をハイライトしたHTMLへのリンクであるdiff.html(16)が表示され、押下すると該当する画面へ遷移します(別画面表示)。

「再取得」ボタン(13)を押下すると、選択したアイテムの現地点での更新情報を取得し、その結果を【D】更新履歴エリアに反映します。

表示された更新日時(13)には、リンクが設置されており、押下すると該当するミラーサイトへ遷移します(別画面表示)。

### 1.2.3 特権モード

システムに特権ユーザでログインした場合、【C】特権モードエリアが表示されます。

特権ユーザ以外でログインした場合は下図のようにボタンが無効となります。

【特権ユーザ以外でログインした場合】

Item編集	Edit	Delete	Add	Item Group編集	Edit
--------	------	--------	-----	--------------	------

【C】特権モードエリアでは、アイテム、アイテムグループの編集が可能です。次頁より編集方法を記載します。

ドキュメント名	1. 管理GUI
システム名称	更新検知ツール

### 1.2.3.1 アイテムの編集

アイテムの編集を行いたい場合は、【B】検索結果エリアより編集したいアイテムを選択し、【C】特権モードエリアに設置された「Edit」ボタン(17)を押下します。すると、下図のような、アイテム編集画面が表示されます。

アイテムの編集はこの画面で行います。デフォルトでは、選択したアイテムの情報が表示されています。変更したい情報の編集を行い、「ok」ボタンを押下すると確認画面が表示されますので、変更内容が正しい場合は、再度「ok」ボタンを押下して下さい。すると、アイテムの更新情報がDBに反映されます。尚、DBの更新が正常に終了しますと、【B】検索結果エリアにも反映されます。

**※アイテム名、URLが同じデータが先に登録されていた場合は、DBには反映されません。**

### 1.2.3.2 アイテムの削除

アイテムの削除を行いたい場合は、【B】検索結果エリアより、削除したいアイテムを選択し、【C】特権モードエリアに設置された「Delete」ボタン(18)を押下します。すると、下図のような、アイテム消去画面が表示されます。

アイテムの削除はこの画面で行います。画面には選択したアイテムの情報が表示されておりますので、削除してもよろしければ「ok」ボタンを押下して下さい。すると、アイテムの削除情報がDBより削除されます。尚、DBの更新が正常に終了しますと、【B】検索結果エリアにも反映されます。

ドキュメント名	1. 管理GUI
システム名称	更新検知ツール

### 1.2.3.3 アイテムの追加

新たにアイテムを追加したい場合は、【C】特権モードエリアに設置された「Add」ボタン(19)を押下します。すると、下図のような、アイテム追加画面が表示されます。

アイテムの追加はこの画面で行います。追加したいアイテム情報を入力して下さい。アイテム名、URLのみ必須項目です。入力が完了したら、「ok」ボタンを押下して下さい。次に、確認画面が表示されますので、アイテム情報が正しい場合は、再度「ok」を押下して下さい。すると、アイテムの追加情報がDBに反映されます。尚、DBの更新が正常に終了しますと、【B】検索結果エリアにも反映されます。

**※アイテム名、URLが同じデータが先に登録されていた場合は、DBには反映されません。**

### 1.2.3.4 アイテムグループの編集

アイテムグループを編集したい場合は、【C】特権モードエリアに設置された「Edit」ボタン(20)を押下します。すると、下図のような、アイテムグループ追加画面が表示されます。

アイテムグループの編集はこの画面で行います。この画面で、アイテムグループの「編集」、「削除」、「追加」が可能です。

### 【1】アイテムグループの編集

アイテムグループリストより、編集したいアイテムグループを選択します。すると、選択したアイテムグループの情報がテキストボックス(グループ名、コメント)に表示されますので、変更を行ってください。変更が終了したら「ok」ボタンを押下して下さい。次に、変更確認画面が表示されますので、アイテムグループ情報が正しい場合は、再度「ok」ボタンを押下して下さい。すると、アイテムグループの更新情報がDBに反映されます。

**※アイテムグループ名が同じデータが先に登録されていた場合は、DBには反映されません。**

ファイル名	操作マニュアル.xlsx	PAGE	5
-------	--------------	------	---

ドキュメント名	1. 管理GUI
システム名称	更新検知ツール

## 【II】アイテムグループの削除

アイテムグループリストより、削除したいアイテムグループを選択し、「delete」ボタンを押下して下さい。

次に、確認画面が表示されますので、削除してもよろしければ「ok」ボタンを押下して下さい。すると、アイテムグループの削除情報がDBに反映されます。

また、削除する際に、選択したアイテムグループに属するアイテムが存在する場合があります。

「アイテムグループに属するアイテムデータも同時に削除する」にチェックを入れ削除するとアイテムデータも一緒に削除されます。

チェックしなかった場合は、該当するアイテムのアイテムグループ情報を「0(どのグループにも属していない)」に変更します。

## 【III】アイテムグループの追加

アイテムグループリストより、「新規登録」を選択します。次に、グループ名とコメントを入力し「ok」ボタンを押下します。

グループ名のみ必須項目です。次に、登録内容確認画面が表示されますので、アイテムグループ情報が正しい場合は、

再度「ok」ボタンを押下して下さい。すると、アイテムグループの追加情報がDBに反映されます。

**※アイテムグループ名が同じデータが先に登録されていた場合は、DBには反映されません。**

### 1.2.3.5 更新履歴種別の設定

更新履歴にある「Edit」ボタンを押下すると左図のように更新履歴の種別を設定するためのチェックボックスが表示されます。

設定したい種別のチェックボックスにチェックを付け、「ok」ボタンを押下することによりDBに反映されます。

## 2. 更新検知ツール

### 2.1 動作環境

以下の環境で、動作を確認しました。

OS:	GNU/Linux
OSのリリース番号:	2.6.9-55ELsmp
マシンタイプ:	i686
プロセッサタイプ:	i686
ハードウェアプラットフォーム:	i386

#### 必要なソフトウェア

•Perl	5.8.5
•Apache HTTP Server	2.0
•MySQL	4.1.20
•GNU Wget	1.12
•sendmail	リリース8

#### 必要なPerl モジュール

- Log::Log4perl
- Tie::IxHash
- Digest::MD5
- LWP::UserAgent
- File::Find
- File::Path
- URI
- HTTP::Request
- MIME::Base64
- Email::MIME
- Email::MIME::Creator
- Email::Send
- Unicode::Japanese
- Class::DBI

### 2.2 操作手順

更新情報を記したXMLファイルは、detect\_update/update\_reports 下に出力されます。  
アイテム別にファイルが作成され、ファイル名は アイテム番号.xml です。

XMLのスキーマは、detect\_update/schema 下に格納しています。



ドキュメント名

2. 更新検知ツール

システム名称

ポータルサイトMEDALSの運用関連ツールの開発

2.3 設定の変更

2.3.1 サイトへのアクセス間隔を変更する場合

更新確認やミラーリングの際、サイトへアクセスする間隔（秒）を指定できます。  
デフォルトは 0 秒（アクセス間隔を空けない）です。

- detect\_update/pm ディレクトリ下の、DetectUpdate.pm を編集します。
- DetectUpdate.pm の27行目を編集します。デフォルトでは、下記のようにになっています。

```
use constant ACCESS_DELAY=>0;
```

- ACCESS\_DELAY=> の後を、指定したい間隔(秒) に書き換えて下さい。
- 例えば、5秒間隔を空けたい場合、以下のように書き換えて下さい。

```
use constant ACCESS_DELAY=>5;
```

2.3.2 メール送信先を変更する場合

メール送信の宛先を設定できます。  
ここでメールとは、サイト更新の報告メールです。

- detect\_update/pm ディレクトリ下の、MailTransfer.pm を編集します。
- MailTransfer.pm の22行目を編集します。
- use constant TO => の後を、指定する宛先に書き換えて下さい。

```
例: use constant TO => xxx@xxx.co.jp,yyy@xxx.co.jp';
```

例では、xxx@xxx.co.jp と yyy@xxx.co.jp に対し、メールを送信する設定です。

2.3.2 ミラーサイトの場所を変更する場合

ミラーサイトを作成する場所を変更できます。  
デフォルトでは、/WWW/cgi-bin/gpmanager/mirror\_site 下に作成されます。

detect\_update/pm ディレクトリ下の、DetectUpdate.pm を編集します。  
DetectUpdate.pm の28行目を編集します。デフォルトでは、下記のようにになっています。

```
use constant WGET_OUTPUT_DIR=>'/WWW/cgi-bin/gpmanager/mirror_site';
```

WGET\_OUTPUT\_DIR=> の後を、ミラーサイトを作成するディレクトリに書き換えて下さい。  
例えば、/WWW/cgi-bin/mirror 下にミラーサイトを作成する場合は、以下のように書き換えて下さい。

```
use constant WGET_OUTPUT_DIR=>'/WWW/cgi-bin/mirror';
```

- \* パスは必ず、絶対パスで指定して下さい。
- \* ディレクトリの後に、スラッシュ(/) は付けないで下さい(上記の例ではmirror の後)。

さらに、管理GUI側のソースも編集します。  
gpmanager/pm/system\_config.pm を、以下のように編集して下さい。

47行目

ミラーサイトの場所を指定します。  
ミラーサイトを構築した場所に合わせて設定して下さい。  
絶対パスで指定し、最後のスラッシュ(/)は付けないでください。

50行目

ミラーサイトへのリンクを設定します。  
URLを指定し、最後のスラッシュ(/)は付けないでください。

ファイル名

操作マニュアル.xlsx

PAGE

8